

# 学校経営の概要

## 学校経営の方針

### (1) 学校経営の構想

#### めざす生徒像 ～自立的に生きる生徒～

- 《創造》・意欲を持ち、理想に向かって最善を尽くせる生徒
  - ・質問ができ、学び合いができる生徒
  - ・自らの考え・思いを仲間に伝え、対話ができる生徒
  - ・互いに励まし合って最後まで誠実に物事を成し遂げる生徒
- 《友愛》・思いやりがあり、友達と協力できる生徒
  - ・互いに尊重し合い、他者の良さを見いだすことができる生徒
  - ・個と集団を意識して、責任ある行動のとれる生徒
- 《健康》・心身共に健康で明るく主体的に行動できる生徒
  - ・挨拶・清掃・歌声など心を込め、積極的に取り組むことができる生徒
  - ・早寝・早起き・朝ご飯の生活リズムを自ら取り組む生徒

#### めざす学校像

- 《躍動》・生徒と教師相互の信頼の上に、生き生きと活動する学校
  - ・生徒の心を大切に、主体的な活動を通して、やる気を育てる学校
- 《安全》・安全・安心で清潔な学校
  - ・言語活動を含め、あらゆる環境の整備に気を遣い、清潔で、安全で、安心して学ぶことができる学校
- 《信頼》・保護者や地域と連携し信頼される学校
  - ・開かれた学校づくりを通して、日々の実践の意図を共有できる学校
  - ・小中の連携を図り、中学校区で学力向上を目指すことができる学校

#### めざす教師像

- 《挑戦》・人間愛、教育愛に燃え、責任を持って日々の仕事に創造的に取り組む教師
  - ・慣例にとらわれず、生徒・保護者・地域を考え斬新なアイデア、企画力、行動力を発揮し、子どもの成長のために努力する教師
- 《信頼》・自他の心の声に耳をそばだて、人として誰からも信頼される教師
  - ・人として心の中を聞き、誠実に、正直に行動でき、相手を尊重し対話できる教師
- 《行動》・率先垂範・子弟同行の意識を持ち、学び続け、子どもの成長を喜ぶことができる教師
  - ・教育専門家としての力量や、社会人として教養を高め、子どもとともに成長しようとする教師

### (2) 経営の重点

- ①安全・安心を基盤として、一人一人を大切に教育を行う。
  - ・教職員が同じ行動目標を持ち、組織体として教育活動を推進する。
- ②学校経営の基盤である、学年経営・学級経営の充実と相互による連携・協力を図る。
  - ・所属感があり、誰にでも居場所のある学級づくりに努める。
  - ・東高生に伝わる伝統を意識させ、自らの姿を高める努力をさせる。
- ③教員と生徒、生徒相互の人間関係と生徒の活動中は教員がつく姿勢の教育を実践する。
  - ・生徒の立場に立って、保護者の願いを理解し指導にあたる。
  - ・生徒に寄り添い、一人一人の違いを受け入れ正しく理解する。(受容的・共感的指導)
- ④生徒の心に届く生徒指導。(自己実現を図っていくための自己指導能力の育成)
  - ・生徒(学校)の姿(清掃の行き届いた学校・挨拶のよい学校・歌声の響く学校)をさらに向上させる。
  - ・生徒には絶えず、家庭や地域でも東高生としてのよりよい姿を求める。(特に、郊外生活、通学態度、服装、挨拶、善行など)
  - ・不登校生徒への働きかけと、解消に向けた工夫、努力をする。
  - ・問題発生時の対応は、初期対応の迅速化と組織的な対応(学年、学校全体)に努める。
  - ・各学年の実態に即した情報モラル指導を計画的に行う。(思いやりのある豊かな心、危険回避能力)
- ⑤生徒を主役として、活動・活躍する場面の保障と創意工夫した諸活動。
  - ・子どもたちが満足感・成就感を味わい、成長できる取組。
  - ・リーダー生徒への支援の充実(入念な計画、短いスパンでの評価と改善のための指導)
- ⑥生徒一人一人の学力向上を目指した指導方法・指導内容の工夫改善。
  - ・たゆみない研修(悉皆研修、OJT、自主研修)

- ・主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善。(知識を与えるだけではダメ。)
- ⑦授業を通して、学習意欲を高め、集中力のある学習集団の育成。
  - ・人(教師、仲間)の話をしっかり聴く。
  - ・人の話や発表に敬意を払う。
  - ・「なぜ」「どうして」を大切に、「わからない」と言える人間関係づくり。
  - ・生徒指導の機能を生かした授業を実践する。
  - ・興味・関心を持たせる工夫(モノ・コト)。
  - ・ICT機器の有効活用。
  - ・座る姿勢の悪い生徒、寝ている生徒をそのまま置き去りにしない。
- ⑧家庭との連携による、家庭学習の習慣化と充実。
  - ・特に、1年生での指導を大切にする。
  - ・適度な宿題(教科部会、学年会で)
- ⑨生徒会活動、部活動等の積極的な支援と教員の活動。
  - ・タイムリーなキャンペーン活動の実施。
  - ・部活動ガイドラインに沿った部活動運営。
- ⑩教育を核とした持続可能な地域社会の構築
  - ・地域に開かれた学校の推進と、地区小中学校や保護者との連携・協力。
  - ・学校・学年便り、学校のホームページで積極的に情報発信。

### (3)本年度の具体的努力点

《重点目標》・安全・安心な学校づくり

- ・学力の向上を図る
- ・活力ある学校づくり
- ・生徒理解の充実
- ・開かれた学校づくり

- ①【学校経営】活力ある学校づくり・生徒理解の充実
  - ・より良い人間関係の育成。
  - ・最後まで諦めずにやり抜く力を育成。
  - ・「子どもの可能性を引き出し伸ばす教育」の充実。
  - ・特別支援教育の推進。
- ②【教育内容の管理】学力の向上を図る・安全安心な学校づくり
  - ・「主体的・対話的で深い学び」「個別最適化された学び」「協働的な学び」を実践するための授業改善。
  - ・好奇心をもって探求する生徒の育成。
  - ・全ての生徒への学びの保障。
- ③【教職員の管理育成】職員の資質能力の向上を図る・安心安全な学校づくり
  - ・授業力アップを目指した授業研究の充実。
  - ・「Well being」で共に成長できる環境づくり。
- ④【教職員の管理育成Ⅱ】徹底した不祥事防止への対応。(モラルアップ、メンタルヘルス)
  - ・「絶対、本校では不祥事は出さない」という強い意志で臨む研修会や日頃の指導の徹底。
  - ・若手を中心としたモラルアップ委員会を組織し、体験型の校内研修を実施。
  - ・当たり前のことを当たり前でできる教職員の育成(出勤簿への押印、提出物の期限厳守、「報告・連絡・相談」の徹底、「すみませんでした。」「ありがとうございます。」、言われたことですぐやるべきことはやる等)。
  - ・養護教諭やスクールカウンセラーと連携した職員の健康状態の把握と面接の実施。
  - ・毎週月曜日は会議(職員会議、学年会議、教科部会、校内研修)を行い、ノ一部活デー、ノ一残業デーとする。(生徒も教師もリフレッシュできる環境づくり)
- ⑤【地域連携】教育を核とした持続可能な地域社会の構築の推進・子どもたちのよさや可能性を引き出し伸ばす地域連携
  - ・持続可能な開発のための教育への挑戦。
  - ・地域学校協働活動の推進
  - ・持続可能な開発のための教育(ESD)を教育課程に位置付け、ユネスコスクール・キャンデイト校としての活動を推進
  - ・地域協働活動の今年度の取組について、共通理解を図るとともに、職員・保護者・地域への周知を進める。